

2020 年度 6 月 25 日理事会議事録

1 日時：2020 年 6 月 25 日（木）19:00～21:10

2 場所：ウェブ開催のため各職場・自宅

3 参加理事（全員ウェブ参加）：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原
神保・玖島・野本・遠藤・神田・佐藤範・戸塚・佐藤良・西川・澤口
大郷（18 名）

欠席監事：田中・鶴見（2 名）

4 議事録署名人：錠内会長、吉本理事、鶴見監事

5 議決事項（議事の経過概要及び議決結果）

（1）事務局

1）重点課題

1－1）「県委託事業費に関する事務局積立貸し出しについて」

県からの委託事業費が年度末に入金することをふまえ、事業活動費として 100 万円を事務局積立から貸し出したい。⇒承認

1－2）協会より 47 委員会「協会員＝士会員」実現のための検討委員会

協会理事会にて特設委員会設置が承認され、活動が開始した。調査結果をもとに、最終的な「方策（案）」を策定するためには解決する課題が多くあり、課題解決と方策案を策定するために検討していく時間が必要であると認識。方策と工程表（案）について、2020 年度 1 年をかけて練り直し、2020 年度末に、タイムスケジュールをはじめとする修正案を示すとのこと。

⇒澤口理事より、OT 協会の代議員として質問をしたこと、その回答が OT 協会 HP に掲載されているとの情報提供がある。

1－3）選挙管理委員会「今回の代議員選挙の分析と次回への提案」

1－3－1）課題

代議員の立候補者が定数を満たさず、推薦候補者も人数が非常に集まりにくい。

1－3－2）原因

会員に代議員の募集が行われていることが十分に周知されていない。

会員の増加に伴い、代議員の定数も増加している。一方で、新規の代議員のメンバーが増えていない。

代議員の活動内容が不明瞭であり、代議員への立候補、あるいは推薦候補を承認するかどうかの判断材料が不十分である。

1-3-3) 意見交換

野本：代議員のなかで、理事や部員・委員以外の方は何人くらいいるのか。

金山：77人中10名くらいか。*その後確認したところ30名だった。

澤口：代議員にアンケートをとった際、協力いただいたので、部員・委員など県士会の活動にまきこんでいってはどうか。

木村：部員・委員は負担が大きいので、負担が少ない方法を検討してはどうか。

⇒代議員の活動内容についてニュースやHPで具体的な活動を周知していく。

また、アンケートなどで県士会活動に加わってもらうよう検討を進める。

1-4) リハビリ手帳会議 参加者

澤口理事に依頼し、了承を得たが、第1回目の会議日程がすでに決まっており、その日の参加が難しいとのこと。6月29日19:00~zoomでの会議。参加してもよい方は6月26日までに金山事務局長まで連絡する。*追記 参加者は木村副会長と金山事務局長となった。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 行政

3-1-1) 厚労省「学生支援緊急給付金給付事業について」周知依頼

各養成校にも連絡がきていることを確認。

3-1-2) 厚労省「実習について」

実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難である場合には、年度をまたいで実習を行って差し支えないこと。なお、これらの方法によってもなお実習施設等の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えないこと。その際、学校養成所等は学生等に対し、代替的な学修の趣旨や狙い、到達目標等について十分に説明するよう留意願いたい旨等の事務連絡あり。

3-2) OT協会

3-2-1) 新型コロナウイルス感染症の特設ページについて

協会HPで開設している、特設ページ内で主に障害者・高齢者向けとして、生活のアイデア募集中。

3-2-2) 第2回新型コロナウイルス感染症に関する状況調査協力をお願い

チーム医療推進協議会より依頼。5/25~5/29の1週間依頼あり。理事MLで周知。

3-2-3) 「士会におけるICTを活用した研修会・会議等運営助成金」の交付について

Web会議システム等を活用した研修会や会議等の開催を想定し、そのインフラ整備の一助するため、全都道府県作業療法士会に対し、一律30,000円の助成金を交付することになったと報告があった。Web会議システムの研修会等への応用について7月にはその運営マニュアル等を配付できるよう準備を進めているとのこと。

⇒申請手続き済

3-3) 関係団体

3-3-1) PT 士会 リハビリ手帳について

改定に向け共同で作業をしたいと改めて依頼があった。1 回目の会議参加者を検討中。

3-3-2) PT 士会より総会列席依頼

2020 年 6 月 21 日 (日) 9:30~11:00 ウェブによる開催⇒欠席

3-3-3) 神奈川県病院協会より学会開催について

2020 年 11 月 18 日 (水) 開催予定だった学会が中止となったと連絡あり。

3-3-4) 日本福祉用具供給協会より資料

「福祉用具貸与事業者におけるサービス提供の質の向上に向けた業務改善事例集」
回覧 BOX へ。

3-3-5) 人間作業モデル研究所のチラシについて

物販の依頼があったが、それを除いたチラシの同封を依頼。

3-3-6) 医専連第 159 回定例理事会議事録・2020 年度通常総会について

定例会議はメール審議となり、総会は役員の議決権行使での実施となった。6 月 18 日締切。

3-4) 士会内

3-4-1) 学術誌編集室への対応について

今まで平日の昼間に、事務局で開催していた会議の変更を打診。編集長からは今後は休職中の子育て世代の OT にも協力してほしいので昼間の開催は継続したいと提案があり、土日の開催を検討すると話がある。

3-4-2) 会員推移

3-4-2-1) 入会 4 月 19 名 5 月 21 名

3-4-2-2) 退会 4 月 6 名 5 月 9 名

(2) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 事業費の口座振り込み

6 月 2-5 日実施。

3-2) 通帳とカードの引き渡し

6 月 8 日より順次、レターパックもしくは書留で担当理事に郵送。

3-3) (一社)日本作業療法士協会 交付金申し込み

「士会における ICT を活用した 研修会・会議等運営助成金」の 交付に三役承認の上申し込み。*事務局 3-2-3) 参照

3-4) 神奈川県委託事業の財務準備

令和2年度住民主体の通いの場への未病改善アドバイザー派遣モデル事業の事業費の手配準備中。

3-5) 会計ファイルについて

『2020年度会計ファイル』使用する。『Web会議費領収書』はWeb会議を行った際に作成・提出する。財務処理上、領収書が必要になるので、出席票ではなく領収書に変更になっている。Web会議を行った月には、会計ファイルと一緒に、理事メールで報告送付し、財務処理(出納帳簿に記載)する。

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) 今年度のスキルアップ研修会の開催について

2020年12月まではオンライン(Zoom)研修会とし、2021年1月以降は再検討予定。方法は2~3本の企画で近隣の講師とし、講義時間90分程度、参加費は90分1000円。撮影場所は事務局を借りたい。撮影機材を揃えたい。

2-1-2) 質疑応答

大郷: 県士会はセミナー主体の団体ではないので、どの立ち位置で行うか明確にする必要があるか。

奥原: 臨床実習指導者講習会もウェブ開催が可能となった。マニュアルも届いている。

佐々木: ウェブ開催に関する議論(WG)は、研修会の周知を考えると早い対応が必要では。

大郷: WGを待っているより、動いてもいいかもしれない。

木村: 研修会参加者が見られない可能性はどうか。

佐々木: 録画などやり方はあるのではないか。

木村: 研修会を行う多くの理事をまきこんで検討してほしい。

⇒学術部単独ではなく、複数の理事の意見を参考に再提案してもらおう。

2-2) 研究助成事業について

2019年度受給者1名から、新型コロナウイルス感染症の影響で研究が進まず、期間内に終了できない可能性があるという報告があった。2019年度の受給者について1年間の延長できないか。

2-2-1) 質疑応答

吉本: 財務的にはすでに助成金の手続きは済んでおり、報告を受けるのみである。

大きな問題はないと考えている。

木村: 何人が対象となるのか。連絡をしてきたのは何人なのか。

佐々木: 3名が対象であるが、連絡をしてきたのは1名。

木村：同じ条件で提案することも大切と思うので、残り 2 名にも確認してほしい。
⇒他 2 名にも状況を確認する。基本的に 2019 年度対象者 3 名全員の期間延長とする。

3) 報告事項

3-1) 2020 年研究助成事業募集

5 月 1 日～7 月 31 日 例年通り募集をかけている（まだ申請者 0 名）。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 研修会開催報告

3-1-1) 臨床実習指導者講習会（申請済み）

3-1-1-1) 日程

9 月 5～6 日（土・日） 国際医療福祉大学（小田原）

10 月 3～4 日（土・日） 国際医療福祉大学（小田原）

3-1-1-2) 実施方法

- ・会場は、メイン教室として講堂・ラウンジ（200 名以上は入れる）を使用。通常教室を 4 部屋準備している。
- ・50 名プラス世話人 10 名程度であれば講堂・ラウンジにて 5 名程度のグループを 10 グループ作っても密とはならないが、感染防止のための対応は十分に考慮して実施する。
- ・今回は 3 月中止延期分の本講習会参加予定者 100 名を 50 名ずつに分けて開催する予定。
- ・申請上、現状では参加者は全員自宅で Zoom 使用にて双方向での開催予定（レクチャーは通常のミーティングルーム、演習はブレイクアウトセッション）とし、開催時状況が改善すれば会場にて感染に注意しながら実施する予定。
 - *現実的に、50 人規模での参加者、世話人が Zoom にて参加でき、なお、運営側として開催できるかは不明であるため、自宅からの Zoom 使用での開催の場合には中止とし、会場に集合可能の場合のみ開催する予定。しかし、参加申し込み状況によっては、少人数でも Zoom 使用が可能な範囲での開催も検討する余地は残しておく（県士会として開催努力を示す）。
 - *富山、東京にて Zoom での開催予定があり、厚労省はこの方法での開催計画を認めている。
- ・会場への移動時の感染対策も必要。

3-2) 他の予定講習会

未定。可能な範囲での Zoom 研修会、集合研修会の開催を検討中（協会の動きもみ

ながら)。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) ニュース班

・8月号 6/11 (金) 締め切り。

・WEB「カナドラ」と連動した連載開始。

・先日の巻頭でニュースのWEB上閲覧に伴いメルマガ登録促したところ、作田委員より登録者数増加の報告あり。今後もメルマガとの連動を進めるよう工夫する。

3-2) 対外広報班

3-2-1) 活動中止報告(新型コロナウイルス感染症による主催側より中止連絡)

・4月 相模原さくらまつり

・7月 ヨッテク

3-2-2) 活動予定(上半期中に開催可否に関して随時確認のイベント)

・8月 リハビリフォーラム／ビッグレスキュー

・9月? 言語聴覚士学会

・10月 ハローよこはま

・11月 川崎介護いきいきフェア／介護フェア

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 県士会表彰について(功労表彰受賞者)

大竹雅子氏 作田浩行氏 鈴木久義氏 眞柄正隆氏 内田亜紀氏 小野 学氏

三川年正氏 山根 剛氏

3-2) 求人関連(2020.4.1~5.31)

3-2-1) 新規掲載 7件

3-2-2) 変更依頼 3件

3-2-3) 削除依頼 3件

(7) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

3-1) 地域リハ部事業状況

3-1-1) 研修会企画

新年度企画については、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてからとする。

3-1-2) 生涯教育事業

県の医療課より今年度の生涯教育推進事業依頼があり、例年通り行う方向で調整。

3-2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

今年度事業に関して、未定。

3-3) その他

3-3-1) 藤沢市地域ケア会議などのリハ専門職派遣、参加依頼

市内の地区ごとの派遣依頼あり、遠藤理事が対応。

3-3-2) 県介護予防アドバイザー業務

県より県内の予防関連事業で作業療法士派遣依頼が来た場合は、県アドバイザーで作業療法士会窓口ある遠藤理事に連絡が来るので、必要に応じて理事にも派遣など協力依頼をお願いすることがある。

3-3-3) 県からの「通いの場」へ専門職派遣事業の進捗状況

仕様書は以前に提示したものが正式契約となる予定。6~7月の間には県との正式契約を結び、通いの場に派遣する専門職の選定を実施。7~8月にかけて行われる事前打合せに向けて準備を進めていき、正式に可動。

(8) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) 部員の承認

郷 康人氏 (イムス横浜狩場脳神経外科病院)

仁田 憲司氏 (茅ヶ崎新北稜病院)

⇒2名とも承認

3) 報告事項

3-1) 社会制度対策班

ブログにて協会からの情報を中心に発信中

3-2) 福祉用具班

3-2-1) 研修会

認知症対策委員会コラボ研修 2月開催予定。班主催研修については現在担当者間で検討中。

3-2-2) システムモデル事業

OT協会からも本年度の活動予定の問い合わせがあり、担当者間で具体的活動内容を検討中(例年通り相談支援システムの運用とモデル事業の事例収集の方向)。

3-2-3) 他団体への協力

HCR 中止。「足柄の NPO 法人様向け自助具の研修会企画」への対応準備中。

3-3) 災害対策班

3-3-1) 安否確認システム

試験運用の準備、例年通りであれば協会の訓練と連動させる予定。

3-3-2) イベントや研修への参加

未定（イベント自体の開催が未定のため）。

3-3-3) 非常事態時の連絡方法について

LINE グループを事務局とともにまとめていく。

3-4) 自動車運転班

3-4-1) 研修会

関連 SIG と相談しながら実施方法を検討中

3-4-2) 啓発活動

ブログによる情報発信を月 1 回のペースで実施。ニュースにて隔号掲載で 2 年間、連載を行う。

(9) 規約委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(10) ウェブサイト管理委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
 - 3-1) 作業療法啓蒙を推した新コンテンツ設置に向けて
著作権譲渡に関する資料作成中。弁護士に内容確認いただき、修正、再検討を実施。
 - 3-2) 各部署のページの更新（2020 年度版への書き換え）依頼
会長・各部・委員会が指定された様式で更新し、ウェブサイト管理委員会へ。

(11) 学会評議委員会

- 1) 重点課題
 - 1-1) 2021 年度県学会の開催について
現時点での感染症対策を実施した上で 2021 年県学会の開催を実施することを想定し、情報を収集中。
 - 1-1-1) 質疑応答

吉本：ウェブ開催と会場の併用すると約 250 万程度かかりそう。予算枠は 320 万、最大で 420 万まで使用は可能。

木村：業者によってはもっと安く行えるところもある。

吉本：必要経費以外に会議費などどれくらいかかるかという点では不安要素はある。

澤口：開催時期や対費用効果、市民の参加はどのように考えるか。

錠内：来年の 12 月に開催予定だが、その時にどうなっているかは不明。しかし、500 名の会場の半分と想定していても、状況によって参加人数を増やす可能性はありそう。ウェブ開催にすることで全国の人も参加しやすいのでは。

佐々木：ウェブ学会はライブでの視聴のみにすると予算が変わるかもしれない。

戸塚：何を使って何を使わないかによって予算は変わるか。

吉本：双方向でのやりとりも可能となるか。

戸塚：他学会で実際に双方向でのウェブ学会を開催されたところに問い合わせ中。

⇒2021 年 12 月に開催する。学会長に再度説明する。どのような方法で行うかによって予算が変化するので情報は引き続き収集していく。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(1 2) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題

1-1) コロナ禍での当会の今期研修会事業等について「ステップ 1~3 (仮)」等で開催方法の在り方を検討 (規模、リモートの有無)

三役より対策について、神奈川県チェックリストを活用し、開催を検討していく方法が提案される。

1-1-2) 質疑応答

現状について情報を確認する。

野本：(野本理事の勤務先の) 養成校では前期の座学はすべてウェブ予定。緊急事態解除後は実技の授業も再開。実習はすべて学内。実習地の半分から断りがあった。実習期間も延期している。

奥原：(奥原理事の勤務先は) 前期は入校禁止。緊急事態解除後の 1 カ月後より実技・演習は登校可能となったが、他学部との関係もあり、申請制で行っている。県の認定証を掲示している。

遠藤：(遠藤理事の勤務先は) 5 月からウェブを利用。6 月 22 日からは分散登校。実技系は基本後期に行う予定。接触を避けるよう対応しており、フェイスガードの使用についても検討中。

澤口：市営の会場も収容人数の半分といわれている。

錠内：概ね収容人数の半分になるのでは。ウェブ開催の場合、講師の同意書をもらえ

ばよいのでは。法的にとらわれすぎると動けないのではないか。

奥原：講師は話す内容が著作権に触れる可能性がある。出版元やお金がかかるかなど講師に判断してもらう必要もある。あいまいなときはライブのみにするなど。ウィリングから連絡があり、9月から使用可能とのこと。三密を避けること、収容人数の半分とのこと（広い会場で最大100名程度か）。会場に従う必要がある。

佐藤良：認知症と家族の会の集いも担当者と打ち合わせ予定。活動はいつから行うのか。

木村：7月からの企画はチェックリストを利用して活動してもよいこととし、企画を提案してもらい検討していく。

佐藤良：家族の会について、理事会後に打ち合わせを行い、その結果を受けて委員会でも打ち合わせを行い、最短でも9月から開催予定。

⇒ウェブとの併用検討や、使用会場からの実施方法の指示も考慮していく。基本的に2ヵ月前の開催判断は変わらず。エクセルシートで事業の実施について確認しつつ、各事業で具体的な実施方法を提案してもらう。

1-2) リモートや You tube の活用について

リモートワークに関するワーキンググループにて検討していく。

1-3) コロナ禍のリハビリでの影響について

協会の調査結果を待ち、全国の状況も考慮していく。

1-4) 公益比率について

知識が必要であり、専門家である公認会計士に依頼できないか。

⇒一般的に顧問契約であり、公益比率だけを出すことは断られるのではないか。

情報を集めるとともに、できる範囲での取りまとめを澤口理事に依頼する。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

これから今期の事業計画について部内会議を開催予定。

⇒土会の Zoom 利用についてマニュアルを事務局から発信する。

(1 3) MTDLP

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(1 4) 認知症対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(15) 地域包括ケアシステム推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について

緊急事態宣言解除に伴い、6月1日より 元気づくりステーション(通いの場)など再開を可とした。以下項目の徹底を必須条件としている

- ①より慎重に対応を検討し、十分な感染対策を講じた上で段階的に再開すること
- ②再開にあたり区/包括/活動グループの3者で感染防止策が徹底されていることを確認すること

上記条件を満たし活動再開となったグループよりリハ職派遣希望依頼も出てくると思われる。横浜市からは引き続き当士会へ「可能な範囲※」での協力を依頼。

※可能な範囲とは法人や事業所の行動指針に基づいた参加範囲のこと(状況によっては派遣できない依頼もある旨、承知頂いている)

⇒神奈川作業療法士会としては上記条件の下、派遣継続を引き続き実施する旨を報告部員に共有した。

3-2) 横浜市事務事例検討会(R2.6.24 実施)

3-2-1) 横浜市健康福祉局地域包括ケア課 担当者変更

前:見村係長→新:奥津係長

3-2-2) R1 年度派遣回数

予定:80件/実績:56件

グループの事情でキャンセルや年度後半は新型コロナウイルス感染症の影響で中止が重なった。

3-2-3) R2 年度の派遣について

上記1)の通り、現在「区・包括・グループ」で感染対策実施の上再開時期模索。

9月ごろに余波なければ順次再開が増えていくか。R2年度派遣については、所属の指針に従い派遣中止もありうることを市と確認。

(16) エリア化推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

7次回予定

(1) 三役会 7月13日(月) 18:30~

(2) 理事会 7月30日(木) 19:00~

議事録署名人	議長：	錠内 広之	印
	理事：	吉本 雅一	印
	監事：	鶴見 隆彦	印